



ロータリーの夢を 追いつけよう

1998-99年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー——富山 富一
会長——細井 増雄
会長エレクト——長谷川 有美
副会長——斎藤 弘文
幹事——西山 徳厚
副幹事——藤田 紘一
S A A——高森 章仁
副 S A A——五十嵐 寿一

例会日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事務局——三条信用金庫本店
例会場——TEL 35-3311
事務局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	76名中 54名
先々週出席率	86.30%

先週のメイクアップ

6/9 新潟南へ

渋谷健一さん

6/14 三条南へ

外山一郎さん、五十嵐晋三さん、
船越正夫さん、細井増雄さん、
菊池 渉さん、古沢富雄さん、
渡辺勝利さん、横山 仁さん、
熊倉昌平さん、石橋育於さん、
斎藤弘文さん、山田富義さん、
高畑 昭さん、渡辺喜彦さん



会長挨拶



細井増雄会長

ご挨拶申し上げます。久しぶりのこの会場での例会であります。また、久しぶりに雨が降りまして、空梅雨かと思いましたが降るときには降るものです。

昨日は大切なお客様のコンペがありまして、茨城県の市原カントリークラブへ行ってまいりました。友部からタクシーに10分ほど乗りまして、料金は1,570円でありました。ところが只でありまして、タクシー代はゴルフ場が負担をしております。

昨日のコンペは90人位でありました。只ですが、皆さんはタクシーではなく、タクシーでの出席は私とそのほか二人でありました。みなさんはやはり自家用車での行ったり来たりでありました。

古い歴史のあるゴルフ場ですが、ウィークデー

で、50人以上入ったのは何ヶ月ぶりということで、キャディーさんも今日は大入りですなんて喜んでおりました。それだけ景気が悪いわけでありませぬ。

パーティーが終わって、久しぶりに上野の鈴木へ寄ってみました。今年で3~4回目位になります。

もぎりのお嬢さんに入りはどうですかと尋ねてみました。3足あまりか。との返答でありました。

寄席の世界では10人を1足と言いまして、7時ちょっと前でしたが35~36の入りでありました。鈴木は250人入る寄席であります。トリの橋岡蔵があがる頃には60人近くになっていましたが、やはり、あまり景気が良くないと感じてまいりました。

ちょっと景気が悪いと笑ってみようと寄席は流行るのですが、でも、250人もはいる寄席がたった60人とは寂しい限りであります。寄席だけで飯を食っている芸人もいるわけですが、これではとてもお飯にならないわけです。

それでも鈴木はいいわけで、池袋に池袋演芸場と言う新しいきれいな寄席があります。落語の世界でつ離れしないという言葉（つ離れとは、一つから九つまではつが付きませんが、十にはつが付かないことから）がありますが、4・5人しか入っていない。景気が悪いのもここまで来ると相当なもんだと感じます。もう少し景気が良くなることを祈るわけです。1日も早い景気の回復を祈るわけであります。

それから、1つお願いがあります。この大雨が降るなか、当社の前に手のひらに乗るような子猫が3匹捨ててありました。お好きな方、きとくなかたがおいでになりましたらなんとか面倒をみていただきたい。お願いいたします。以上で会長の挨拶といたします。

幹事報告

西山徳厚幹事

◎日本サービスセンターより

適用相場変更のお知らせがとどいております。

7月1日より 1ドル122円（現行120円）

◎見附RCより

1999~2000年度新潟県内会長、幹事会開催のご案内がとどいております。

とき 7月11日（日）PM12:30~

ところ ホテルつるや（見附市）

ニコニコBOX



渡辺宏策さん

ボックス入れ忘れが再々有りましたので、まとめて。

佐藤 武さん

一年間皆様からスマイルボックスに協力して頂いた事に感謝して。

五十嵐昭一さん

BOXの売上アップに協力して。

樺山 仁さん

ボックスに協力して。

6月16日分 ￥ 8,000

今年度累計 ￥668,000

三条ローターアクト・クラブ

共同提唱のお願い

地区RA委員長 佐藤 吉平

今回、このような機会を頂きまして、誠にありがとうございます。

今期もあと僅かとなりましたが、ここの所、当2560地区のあちらこちらで、RACが会員数の減少により、解散、また活動停止の危機に面しております。当地区で最も歴史のある、桐生RACが来期会員が1名になってしまうので、提唱クラブの会長が、地区協においてガバナーにRACを解散してもよいかと質問したとのことすし、草津RACも会員の減少により、例会を開けない状態だと聞いております。また、この問題は後ほどお話しさせていただきますが、お隣の燕RACも来期会員が2名となり、休会状態となってしまいます。なぜこのような状態になってしまったか、色々と原因はあろうかと思いますが、地区のRA委員長としてはたいへん憂慮しております。

また、三条RACの現状を見ますと、一応会員数は11名となっておりますが、その内、1名は今期で退会の予定でほとんど出席しておりませんし、2名は仕事の都合で例会に出席できない状態です。実質7~8名で活動しているのが現状です。このまま、数年経ちますと、三条RACも会員数の減少により解散の危機を迎えてしまいます。そうなるから慌てても間に合いません。ベテランの会員と入会まもない会員がうまくかみ合っている今こそ会員増強をはからなければならないと

思います。ではどうすればよいか、ひとつ方法として近隣の複数のRCが、一つのRACを提唱することにしたなら、より幅広いロータリアンからRACを理解してもらうことが出来、新アクト会員を紹介していただけるのではないかと思います。三条には、南クラブと、北クラブがあり、且つ、両クラブともRACを単独で提唱する意志がないとのことですので、両クラブにも三条RACのスポンサーになってもらってはどうかと思っております。会員増強のために、共同提唱をお願いするのは、余りにも安易ではないかという批判はあろうかと思いますが、他にRACの会員増強をはかり、活動を活発にする方法が見当たらないのです。

ローターアクト必携のなかに、ローターアクト・クラブの共同提唱と言う項目があります。そこに、ローターアクト・クラブは次ぎの条件のもとに二つ以上のロータリー・クラブが共同して結成し、かつ提唱することができます。とあり、その条件として、地区ガバナーが文書による承認をあたえること。各提唱ロータリー・クラブから代表が送り出される合同ローターアクト委員会を設立すること、などです。当地区にはこのような例はまだありませんが、他地区では、一つ分区で一つのRACを提唱している例もあり、会員数も多く活発に活動しているようです。

三条RACは皆様ご案内の通り、2000'~2001'年度に30周年を迎えます。過去には2名の地区代表を輩出したこともある、名門クラブをもう一度、20名程度の会員のいるRACにして、皆様と共に30周年をお祝いすることが出来ますよう、お願いする次第です。

もうひとつ、皆様にご検討して頂きたい件がございます。先程申し上げました通り、お隣の燕RACでは来期の会員数が2名となり、休会状態となっております。定款上、休会と言う状態はありませんので、名称は残すが、活動は休止するということ。この問題も立場上黙っている訳にも行きませんし、近隣のRACが強く存続を望んでいることもあり、三度ほど、燕RCとRACへ存続の道はないかと話し合いに行ってまいりましたが、提唱クラブである、燕RCさんのクラブ事情もあり、かつ、2名のRAC会員では、例会も開けないとのことで、休会状態もやむをえないと言う結論に達しました。しかしながらこのまま解散になってしまうのは、耐え難い寂しいことすし、2名の残った女性RA会員はまだRA活動を続ける意志もあり、たいへん残念でなりません。

そこで次善の策として、燕RCからも三条RACを共同提唱となって頂き、共に活性化をはかってはどうかと言うこととなりました。燕RCとし

ては、会員数の問題もあり、もう単独でのRAC提唱は無理とのことです。また、西蒲原の各RCにも、協力をお願いしたとのことですが、賛同を得られなかったとのことでした。もう三条と一緒にやるしか方法はないです。

しかしながら、先程お願いした三条の他クラブとRACを共同提唱する件と異なり、解決しなければならない問題が、多々あるように思われます。燕RACには今までの独自の活動があり、三条RACにも独自の活動をしているわけで、単純に燕RACの残った2名を三条RACが引き取ればよいと言うわけに行かないのです。また、名称をどうするかなどの問題もあり共同提唱が可能かどうか、じっくりと話し合う必要があると考えております。

当地区で最初にRACが提唱されてから30年が経ちました。その間に社会環境は大きく変わり、また青少年の思考も30年前とは大きく変わってきているのではないのでしょうか。少子化に伴い子供たちが減少しているのも紛れもない事実です。このような状況のなかで、いままで通りの形でのRCとRACの関係では、いずれRACが消滅してしまうのではないかと危惧いたしております。共同提唱と言うかたちが、RACに対して上手く機能するかどうか、実際にやってみないと解らないことが多いと思いますが、今考えられるベターな方法だと考えておりますので、前向きに検討して頂きますようお願いいたします。

クラブ・フォーラム

長谷川会長エレクト



親睦の丸山さんからお話がありましたが、私の事業年度では、皆さんの相互信頼とより一層の親睦を深めるために、親睦活動に最大のウエイトをおきたいと考えます。多少の受益者負担をお願いいたします。

来年度の方針で問題が二つあります。一つはローターアクトの会員が年々減少いたしまして、今現在のアクトの会員は8名です。地区協議会でも問題が提起され、このままでは活動を停止しなければならない状況にあります。

ガバナーの立場としてはそれは困る。私たちの

クラブもこのままで行きますと何とか今年度は継続できますが、その先は解らない状況であります。

地区協議会で申しあげたんですが、一クラブで存続ができない場合はどうしたら良いか。他のクラブから協力をいただきながら活性化を図る方向ではと申しあげました。ガバナーは個人的には賛成するが、ただ規則の上でどうなのか後日報告をくれることとなっております。

現在南・北クラブともローターアクトはありません。両クラブから協力を願う。三クラブ合同で提唱し、ローターアクトの活性化を考えてはどうか考えています。

いま一つは、会員増強についてであります。高橋会員が市長になられて、物理的に駄目でありませし、高波さんも難しいのが現状であります。

今日は時間がありませんので次にいたしますが、経済情勢が厳しい中ではあります。会員の皆さんの協力を仰ぎ進めていきたい。ローターアクトの地区委員長の佐藤さんから、共同提唱についてお話をお願いいたします。

地区ローターアクト委員長

佐藤吉平会員



委員長の佐藤でございます。私の申しあげたいことを長谷川さんとお話をなさいましたので、要点だけお話しさせていただきます。

正式には11名であります。今期限りで1人退会者がおりまして、殆ど出てきておりません。2名は名簿上であり、出席できない状況です。実質7名～8名で活動しております。

アクトは30歳で卒業であります。今年・来年はそのようなメンバーはおりませんが、数年経ちますと解散の危機を迎えます。そうなるから慌てても間に合いません。ベテランの会員と入会もない会員がうまくかみ合っている今のうちに会員増強をはかれないと間に合わなくなってしまうと思っています。

長谷川さんからお話がありましたとおり、近隣の複数のローターから共同提唱という形を取っていただいて、幅広いローターアンからローターアクトの活動を理解していただいて、新アクト会員を紹介していただく。今のところこれしか方法

がないのかと考える。

会員増強のために共同提唱をお願いするのは、余りにも安易ではないかとの批判もあるかと思いますが、アクトは奉仕活動をする団体であります。結果として、各クラブにとって役立つこととなると思います。

共同提唱については、定款ではなく、ローターアクト必携の中に共同提唱と言う項目があります。近隣(南・北クラブ)のクラブと共同提唱してもこの必携に違反するところはないかと思ひます。

三条ローターアクトクラブも2000年～2001年に30周年を迎えることになると思ひます。三条ローターアクトクラブは過去に2名の地区代表を輩出したこともある名門のクラブであります。少なくとも20名程度のいるローターアクトクラブにして、皆さんとともに30周年をお祝いすることができますよう願ひする次第であります。

それから、もう一つえらい問題を請ひこんでまいりまして、その件について説明したいと思ひます。隣の燕のローターアクトクラブの会員数が2名になりまして、休会状態になります。定款上休会はありませんので名称は残すが、休会となります。立場上黙っているわけにもいきませし、近隣が強く存続を望んでいることもあり、燕ローターアクトクラブと3回ほど話し合いをおこなってまいりました。

燕ローターアクトクラブからも三条ローターアクトクラブと共同提唱になっていただき、共に活性化をはかっていきたいということになり、検討することとなりました。会員数の問題もあり、燕での単独でのローターアクトクラブの提唱は無理とのことでありませし。西蒲原の各ローターアクトクラブに協力をお願いしたが、賛同を得られなかったとのことです。三条さんと一緒にやるしか方法が無いとのことです。

しかしこの件は、長谷川さんが申された三条内の他のクラブとの提唱とは異なり、解決しなければならぬ問題が多々あると思われませし。燕ローターアクトクラブは独自の活動をしているわけですし、三条ローターアクトクラブにも独自の活動があるわけです。単純に燕ローターアクトクラブの2名を三条ローターアクトクラブで引き取ればよいというわけにはいかないので。また、名前をどうするかの問題もあり、共同提唱が可能かどうかじっくり話し合う必要があると思ひます。

当地区で最初にローターアクトクラブが提唱されてから30年が経ちました。その間に社会環境は大きく変わり、また青少年の考え方も大きく変わってきているのではないのでしょうか。少子化に

伴い子供が減少していることも紛れもない事実です。このような状況の中で従来通りのローターアクトクラブとローターアクトクラブの関係で良いのだろうか。このまま行ったらアクトクラブが消滅してしまうのではないかと危惧いたしてあります。

共同提唱という形が上手く機能するか。実際にやってみないと解らないことが多いですが、考えられるベターな方法だと考えてあります。

是非燕の問題も含めて三条ローターアクトクラブの皆さんのご意見を伺いたいと思ひます。



例会案内

三条RC	7月7日例会	クラブ・フォーラム
	7月14日例会	夫人同伴ワイン例会 於 ロイヤルホテル

メイクアップをどうぞ

三条南RC	7月5日例会	クラブ・フォーラム
	7月12日例会	会員卓話
三条北RC	7月6日例会	クラブアッセンブリー
	7月13日例会	会員卓話
加茂RC	7月8日例会	クラブ・フォーラム
	7月15日例会	会員卓話
燕RC	7月8日例会	クラブ・フォーラム
	7月15日例会	クラブ・フォーラム
見附RC	7月8日例会	会員卓話
	7月15日例会	会員卓話